

【書類名】 明細書

【発明の名称】 燃料注入管のキャップ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 旋回支軸を中心として旋回し得るタンク・カバーと、該タンク・カバーの内側に設けられた閉鎖部材とを備え、該閉鎖部材は、ロックし得る閉鎖状態にある時には、燃料注入管の端部に密着し、前記タンク・カバーは、閉鎖状態の時には開放方向に付勢され、例えばロボットが動かす給油ピストルを用いてちょっと押し込むことによって、ロックを解くことができ、開放位置へ旋回させることができるような、自動車の燃料タンクの燃料注入管のキャップであつて、給油管(3)のシールされるべき開口部(7)は、該給油管のほぼ円筒状の拡張部(8)の内端において内側へ段付き部を形成するように設けられており、前記タンク・カバーの内側にスリーブ(10)が固定されており、このスリーブの内部には、シールされるべき開口部にかぶせられるパッキング(14)を備えたピストン(11)が軸方向に摺動可能にはめ込まれており、前記パッキング(14)が軸方向の圧力を受けると、鎖錠部分が半径方向に外側へ広がって、給油管の円筒状の拡張部(8)の内端に設けられた溝(17)に嵌入し、スリーブ(10)の内部におけるピストン(11)の支持構造は、一度押し込むとロックし、更にもう一度押し込むとクリアするキー・スイッチに似ているので、鎖錠部分が溝(17)に嵌入している状態でタンク・カバー(5)を押し込むと、スリーブ(10)はタンク・カバーと共にピストン(11)に対して外側へ相対的に移動し、鎖錠部分を溝(17)から離脱させる

ことを特徴とする、燃料注入管のキャップ。

【請求項2】 前記鎖錠部分が戻り止め球であることを特徴とする、請求項1記載の燃料注入管のキャップ。

【請求項3】 前記鎖錠部分が、ピストン(11)に取り付けられたゴム製のリング(16)であり、このリングは、給油管のためのパッキング(14)を支持するピストン・ヘッド(12)と、スリーブ(10)との間で支えられ、ピストンが前記開口部の段形部にかぶさった後にこのリングが軸方向の圧力を受けると、半径方向に広がって前記の溝(17)に押し込まれることを特徴とする、